

今月の重点活動

■水稲 **J A 営農担当者へのウェブ研修会を開催**

4月8日、J A ぎふ本店において、J A 営農担当者を対象とした水稲青空教室研修会が開催された。

本研修会は、稲作シーズンを前に営農担当者が作付品種の特性や本田の初期管理について理解を深め、今後各地で行われる水稲青空教室において説明ができるよう毎年開催されている。今回は新型コロナ対策としてウェブ形式での研修となったが、営農担当者など約40名が参加した。農業普及課からは、今後高温で経過した場合の栽培管理技術やスクミリングガイ(ジャンボタニシ)対策について解説した。

農業普及課では、これからもJ A 営農担当者と連携しながら、令和3年産米の安定生産に向け、栽培管理指導や生育調査を実施していく。



【ウェブ研修会の様子】

(地域支援第三係・松本 政行)

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■水稲 **地域の水田を担う拠点へ**

4月20日、山県市において、スマート農業に取り組んでいる(農)おおがでライスセンター竣工式が行われた。

本ライスセンターは、収穫作業と乾燥調製作業の進行状況が営農支援システムを介して作業オペレーターに通知されるため、効率的に刈取と乾燥調製を進めることができる。

中山間地域は一筆の農地が狭く、広い畦畔の管理にコストがかかるなど営農に不利な条件であるが、(農)おおがは、スマート農業やGAPを活用して、水稲、小麦のほか、特産品の「そば」や「栗」の栽培に取り組み、地域の農業・農村を守っている。

農業普及課では、これからも中山間地域での持続可能な経営の実現を目指し、経営の安定に向けた支援をしていく。



【竣工式の様子】

(地域支援第三係・河合 浩子)

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■水稲 **「あきたこまち」の田植え始まる**

4月12日、羽島市において、管内のトップを切って「あきたこまち」の移植作業が開始された。今後、市内では品種を変えて6月末まで移植作業が続く。

今後、農業普及課では水稲生産者に対し、穂肥施用や病虫害防除、適期収穫など栽培管理について、継続的に支援をしていく。



【田植えの様子】

(地域支援第二係・木村 裕子)

■小麦 採種ほの出穂期審査を実施

岐阜農林事務所管内では、「タマイズミ」という準硬質小麦を約400ha 栽培している。使用する種子は本巣市と北方町に設置されている採種ほで生産されており、農業普及課は採種ほの設置や栽培管理について支援してきた。

令和3年産については、両地区合わせて14haで種子生産を行っており、4月9日に出穂期審査を実施した。当日は農業普及課の他、種子生産者、農業経営課、県米麦改良協会、JA全農岐阜県本部、JAぎふの担当者など23名が出席して、ほ場ごとに異品種混入の有無や生育状況などを確認し、全筆を合格とした。

今後、農業普及課では麦刈前の糊熟期審査や収穫物の発芽率調査を行い、良質な種子が供給できるよう支援していく。



【出穂期審査の様子】

(地域支援第三係・松本 政行)

■えだまめ 岐阜えだまめの出荷始まる

4月16日、JAぎふ曽我屋選果場において、岐阜えだまめの出荷が始まった。今年は、播種以降、暖冬傾向でやや生育は早い状況であるが、良好に推移している。

農業普及課では、この初出荷に向けて4月12日にJAぎふ、JA全農岐阜県本部の担当者とともに作況調査を行い、関係機関への情報提供を行った。

今後、ハウス、トンネル、露地と11月中旬頃まで出荷が続く見込みである。



(園芸産地支援第一係・岡田 隆史)

■アスパラガス 春芽目揃え会を開催

4月9日、JAぎふ下中支店集荷場において、JAぎふ羽島市アスパラガス部会の春芽目揃え会が開催された。

市場関係者より、出荷量が減少するゴールデンウィークに向けて価格が高くなると見込まれることから、たくさん出荷して欲しいと激励の言葉があった。その後、農業普及課から、現在の岐阜地域内の生産状況、防除暦に基づいた病虫害防除のポイントと農薬の安全使用について説明を行った。

農業普及課では、これからもアスパラガスの安定生産に向け、栽培管理の指導や情報提供を行っていく。



【目揃えの様子】

(園芸産地支援第一係・佐藤 博)

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■かき 接木講習会開催される

4月16日、岐阜市かき共販振興会において、接木研修会が開催された。

接木は品種更新による作業分散や受粉樹の設置などを目的として行われる。農業普及課から今年の生育状況および今後の管理について説明を行った後、農業経営課農業革新支援員より接木の実演による技術指導が行われた。

農業普及課では、これからも岐阜柿の一層のブランド化を目指して岐阜市かき共販振興会の活動を支援して行く。



【接木講習会の様子】

(園芸産地支援第二係・小枝 俊仁)